

# 農業・農村の振興に対する道民意識調査結果

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

道政上の重要課題や主要施策に関する世論調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させることを目的に実施する道民意識調査において、農業・農村の振興に対する意識を把握する。

### (2) 調査の方法

- ① 調査地域 北海道全域
- ② 調査対象 道内に居住する満18歳以上の個人
- ③ 標本数 1,500サンプル
- ④ 地点数 150地点
- ⑤ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑥ 調査方法 郵送配布、郵送回収及びweb（スマホ）による回答
- ⑦ 調査期間 令和2年(2020年)9月

### (3) 調査回収状況

標本数 1,500  
有効回収数（率） 848（56.5%）

### (4) 調査回答者の特性

#### ① 性別

	人数	比率
男性	372	43.9%
女性	455	53.7%
無回答	21	2.5%
合計	848	100.0%

#### ② 年代別

	人数	比率
18～29歳	82	9.7%
30～39歳	138	16.3%
40～49歳	209	24.7%
50～59歳	196	23.1%
60～69歳	163	19.2%
70歳以上	55	6.5%
無回答	5	0.6%
合計	848	100.0%

## 2 調査結果

### 【問1】

あなたは、本道の農業・農村に対してどのようなイメージをお持ちですか。  
次の中から1つだけお選びください。

選 択 肢	比 率
どちらかというが良い	74.4%
どちらかというが悪い	5.2%
わからない	17.9%
その他	0.9%
無回答	1.5%

### 【問2】

あなたは、北海道の農産物に対して、どういったところが強みや魅力だと思われ  
ますか。

次の中から3つまでお選びください。

選 択 肢	比 率
おいしさ	68.0%
新鮮さ	58.6%
安全性の高さ	49.3%
地産地消（地元で作られているところ）	37.1%
ブランド力	28.3%
全国における一大産地であるところ	25.6%
価格の適正さ	6.1%
環境に配慮して作られているところ	4.7%
わからない	2.4%
その他	0.5%
無回答	0.9%

### 【問3】

農業・農村は、食料の生産以外にも、災害の防止や豊かな農村風景の形成といっ  
た様々な機能を有しています。あなたは、こうした「農業・農村の多面的機能」の中  
で、どの機能が重要であると思いますか。

次の中から3つまでお選びください。

選 択 肢	比 率
自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能	50.0%
水を浄化したり、川の流れを安定させる機能	48.2%
一時的に雨水を貯めて洪水を防いだり、土砂崩れを防止する機能	47.4%
生きもののすみかになる機能	35.0%
美しい農村の風景を形づくる機能	24.8%
癒やしや安らぎをもたらす機能	23.6%
わからない	11.0%
その他	0.4%
無回答	1.5%

**【問4】**

あなたの生活の中で、農村でレジャー活動を楽しんだり、農家から直接農産物を購入する（スーパー等での購入は除きます）など、農業や農村と関わる機会はどのくらいありますか。

次の中から1つだけお選びください。

選 択 肢	比 率
日常的に関わりがある	9.3%
よく関わりがある（月に1～2回程度）	8.0%
たまに関わりがある（2～3か月に1回程度）	19.9%
あまり関わりがない（年1～2回程度）	36.8%
まったく関わりがない	24.6%
無回答	1.3%

**【問5】**

あなたは、今後、本道の農業・農村とどのように関わっていきたいですか。

次の中から3つまでお選びください。

選 択 肢	比 率
道産農産物を積極的に購入したい	76.8%
農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい	29.6%
農業・農村に関する情報を積極的に収集したい	16.9%
農村に出向いて農作業をしたい	5.7%
農業を自ら営みたい	1.7%
農業を営む法人に就職したい	1.1%
農業はしないが、農村に住みたい	2.8%
農業・農村に関わりたいと思わない	5.9%
わからない	11.2%
その他	2.0%
無回答	1.5%

**【問6】**

あなたは、本道の農業が将来にわたって発展していくためには、どのような取組が大切だと思いますか。

次の中から3つまでお選びください。

選 択 肢	比 率
農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保	70.5%
国による農家経営の安定施策の充実	33.6%
就業条件の整備などによる誰もが働きやすい環境づくり	26.8%
農産物の加工や、食品産業・観光業などとの連携による農産物の高付加価値化	22.3%
学校教育や農業体験などを通じた食や農業への理解を深める取組	21.9%
農薬や化学肥料の使用を抑えるなど、環境と調和した農業の推進	20.0%
新品種や新技術の開発・普及	16.6%
道産農産物・食品の国内外の市場に向けた販路拡大	15.6%
新たな人材の確保や経済効果などが見込まれる都市住民との交流促進	11.4%
わからない	7.7%
その他	2.1%
無回答	1.4%